

# 中小企業景況レポート

vol.62

2020.1~3

## 業況判断D I 1月~3月は△2.8となり8期ぶりのマイナス

### 【2020年1月~3月期の業況判断D I】

今回調査期間における全業種総合の業況判断D Iは前回調査比で13.4ポイント低下し△2.8と8期ぶりのマイナスとなりました。

すべての業種で前回調査比マイナスとなっており、特に製造業では20ポイント超、卸売業、小売業では10ポイント超の大幅低下となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大（以下、コロナウイルス）が全業種に影響を及ぼしていることが推察されます。

### 【2020年4月~6月期の予想業況判断D I】

次回調査期間における全業種総合の予想業況判断D Iは今回調査比で16.9ポイント低下し△19.7となっています。

業種名	時期	2019年 10月~12月		2020年 1月~3月		2020年 4月~6月 (予想)
全業種総合		10.6	Δ13.4	Δ 2.8	Δ16.9	Δ19.7
製造業		5.2	Δ22.7	Δ17.5	Δ 7.5	Δ25.0
卸売業		0.0	Δ18.2	Δ18.2	Δ 4.6	Δ22.8
小売業		7.8	Δ18.2	Δ10.4	Δ21.2	Δ31.6
サービス業		7.5	Δ 8.9	Δ 1.4	Δ29.6	Δ31.0
建設業		26.9	Δ 9.4	17.5	Δ19.2	Δ 1.7
不動産業		Δ 5.5	Δ 5.6	Δ11.1	11.1	0.0

景況  
天気図  
の目安

D I  
好調 ←

30  
以上

10以上  
30未満

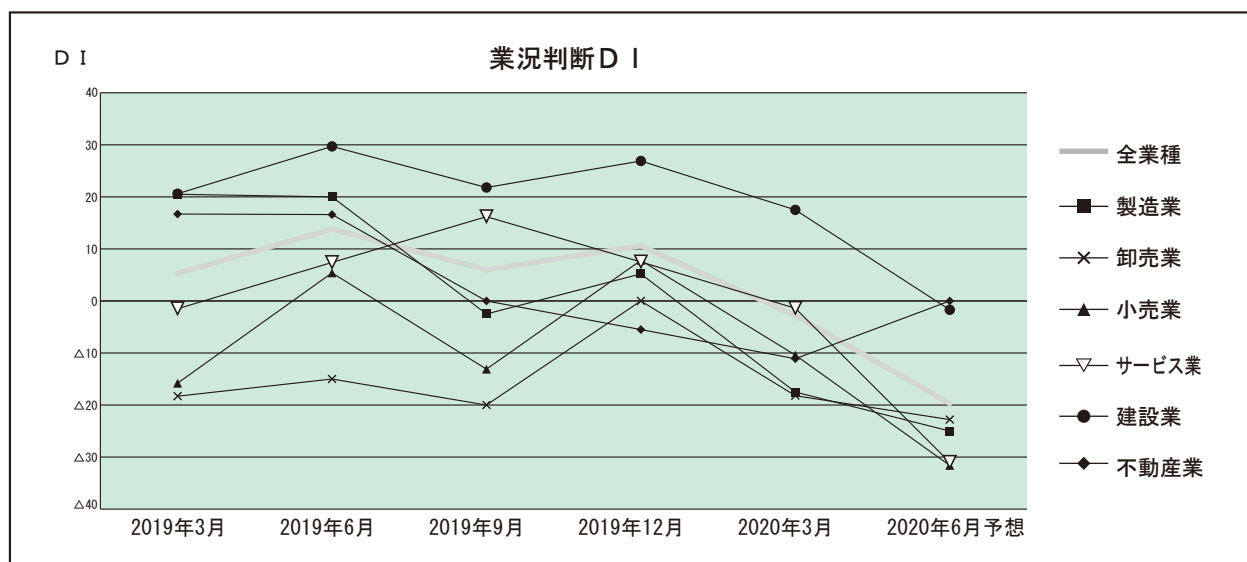
0以上  
10未満

△10以上  
0未満

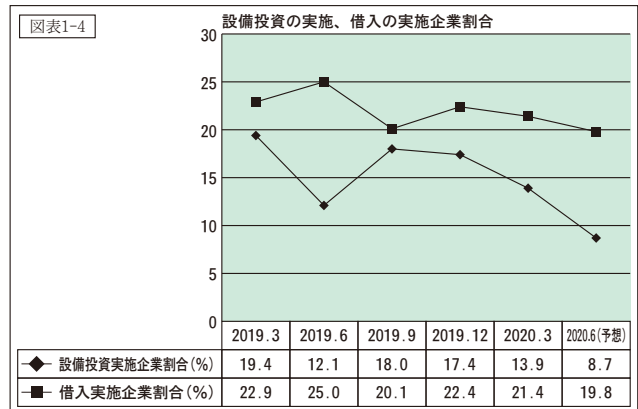
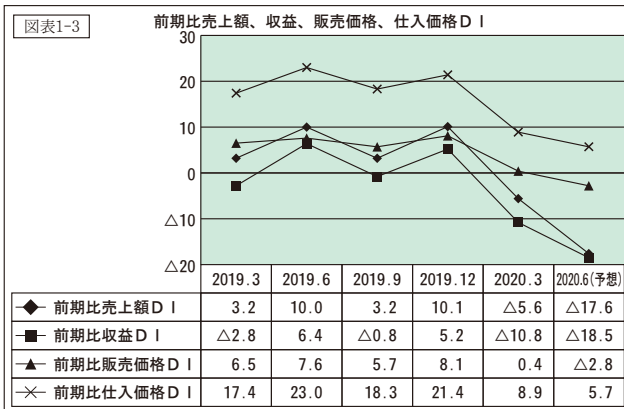
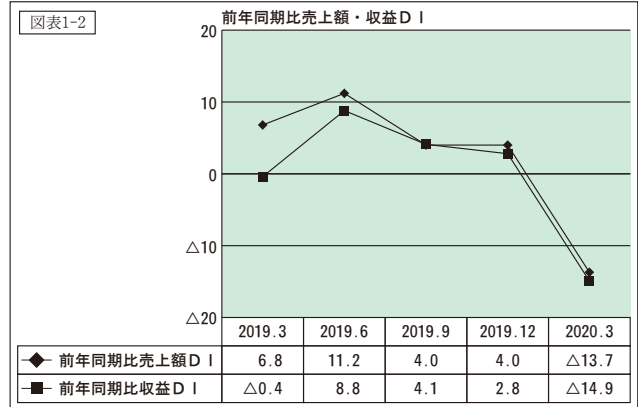
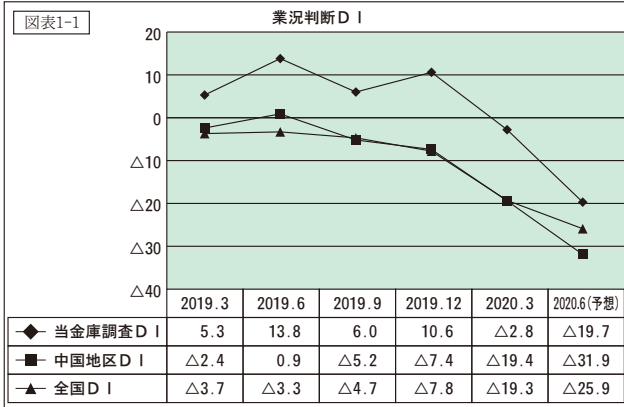
△30以上  
△10未満

△30  
未満

→ 低調



# 全業種総合



## 景況 ～業況判断D Iは△2.8で8期ぶりのマイナス～

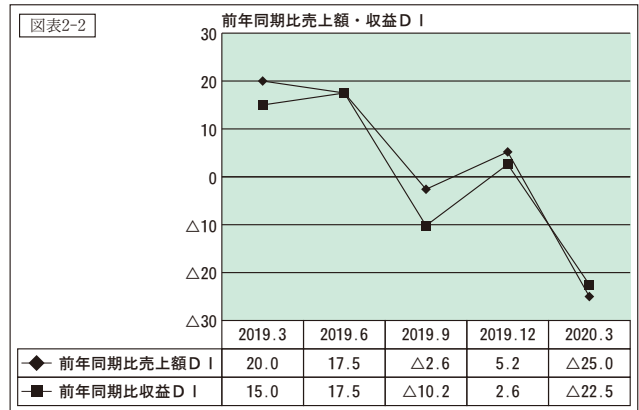
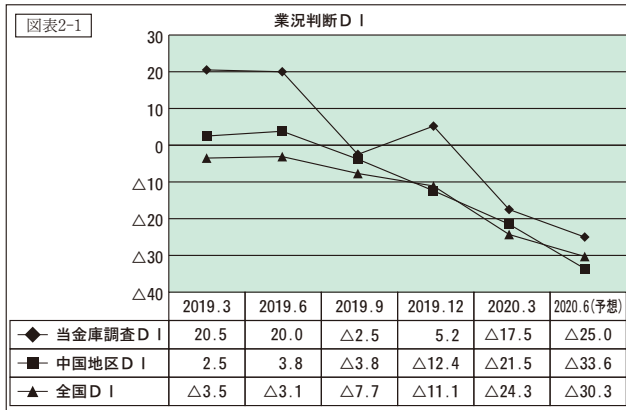
今期の業況判断D Iは全業種総合で前回調査比**13.4ポイントの大幅低下**により10.6→△2.8となりました。中国地区D I (△19.4)、全国D I (△19.3)と比較して当金庫営業エリアの景況感は高くなっていますが、新型コロナウイルスの状況によっては景況感の大幅な低下が予想されます。次回調査期間(2020年4月～6月)の業況判断D Iは△2.8→△19.7と、今回調査比**16.9ポイントの大幅低下予想**となっていることから多くの企業が先行きに懸念を抱いていることが窺えます(図表1-1)。

前年同期比売上額D Iは△13.7、同収益D Iは△14.9であり、1年前と比較して大幅に低下しています(図表1-2)。

今回調査期間で設備投資を実施した企業の割合は13.9%となり、前回調査比3.5ポイントの低下、借入を実施した企業の割合は21.4%となり、前回調査比1.0ポイントの低下となりました。次回調査期間に設備投資を予定している企業の割合は8.7%であり、今回調査期間に設備投資を実施した企業の割合と比較して5.2ポイントの低下となっています。また、次回調査期間に借入を予定している企業の割合は19.8%であり、今回調査期間に借入を実施した企業の割合と比較して1.6ポイントの低下となっています(図表1-4)。

また、設備状況の見通しが「やや不足」「不足」と判断している企業のうち、設備投資をおこなわないと回答している企業は63.6%(前回調査比+0.6ポイント)であり、先行き不透明感から設備投資に慎重な企業が多くなっています。

# 製造業



## 景況 ～今期大幅低下 来期も低下の予想～

今期の業況判断D Iは5.2→△17.5と前回調査比22.7ポイントの大幅低下となりました。また、来期の予想業況判断D Iは△17.5→△25.0と7.5ポイントの低下予想となっています(図表2-1)。

今回調査期間中に日本銀行より発表された岡山県金融経済月報(以下、「日銀月報」)によると、県内主要製造業の生産はコロナウイルスの影響もあり「弱めの動き」との判断であり、特に自動車、鉄鋼、繊維などで弱めの動きとなっており、下請け中小製造業に影響を及ぼしています。

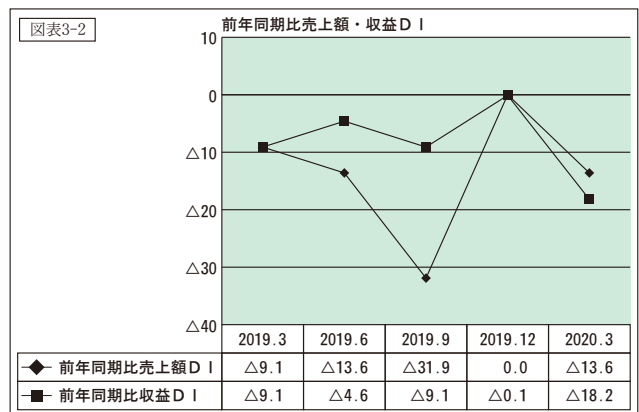
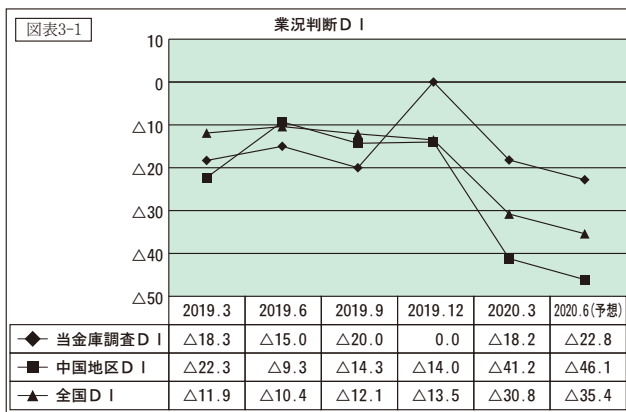
経営上の問題点において「売上の停滞・減少」との回答率が前回調査比18.6ポイントと大幅に上昇しており、受注状況が急速に悪化していることが窺えます。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少	47.5%	人手不足 同業者間の競争の激化	25.0% 25.0%	工場・機械の狭小・老朽化	12.5%
当面の重点経営施策	販路を広げる	65.0%	経費を節減する	35.0%	人材を確保する	32.5%

# 卸売業



## 景況 ～今期大幅低下 来期も低下の予想～

今期の業況判断D Iは0.0→△18.2と前回調査比18.2ポイントの大幅低下となりました。また、来期の予想業況判断D Iは△18.2→△22.8と4.6ポイントの低下予想となっています(図表3-1)。

コロナウイルスの影響で、物流の停滞が顕著になっており、前回調査でD Iが±0にまで回復していた卸売業ですが再びマイナスに転じました。

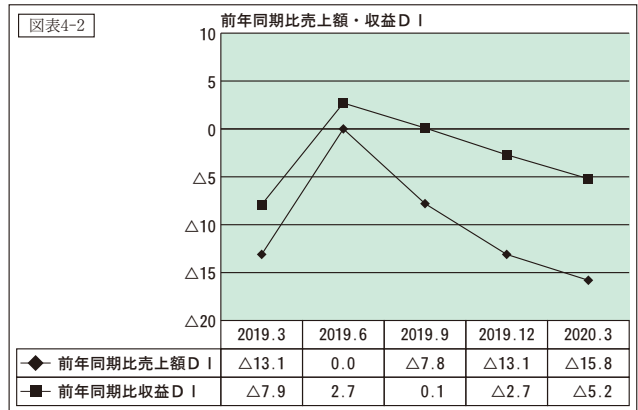
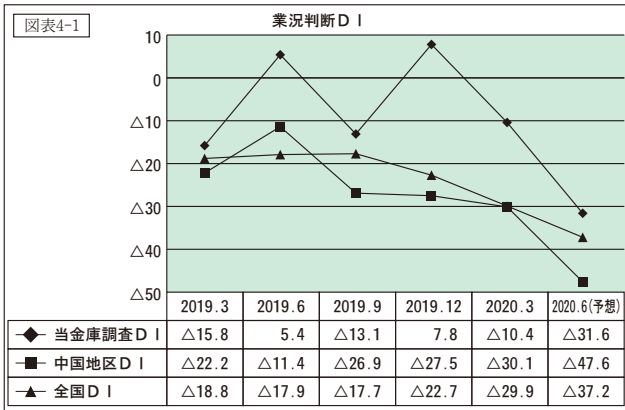
経営上の問題点では「売上の停滞・減少」との回答が4割を超えており、打開策として7割以上の企業が「販路を広げる」と回答しています。また、そのための「情報力を強化する」との回答も増加しています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少	45.5%	同業者間の競争の激化	36.4%	人手不足	18.2%
当面の重点経営施策	販路を広げる	72.7%	情報力を強化する	31.8%	経費を節減する	27.3%

# 小 売 業



## 景 況 ～今期大幅低下 来期も大幅低下の予想～

今期の業況判断D Iは7.8→△10.4と前回調査比**18.2ポイントの大幅低下**となりました。また、来期の予想業況判断D Iは△10.4→△31.6と**21.2ポイントの大幅低下予想**となっています（図表4-1）。

昨年10月の消費税増税による駆け込み需要の反動も落ち着き、日銀月報で個人消費は「持ち直し」との判断で推移していましたが、コロナウイルスの影響で再び落ち込んでいます。

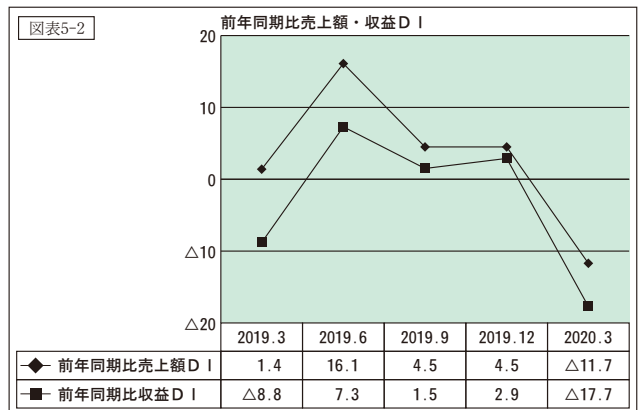
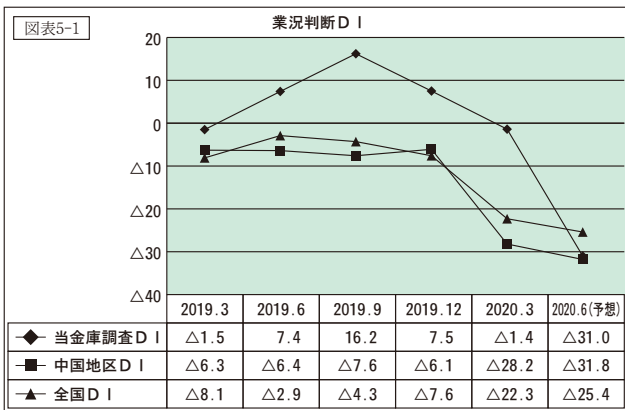
経営上の問題点では「売上の停滞・減少」との回答率が前回調査比で15.8ポイントと大幅上昇しており、利益確保の対策として半数の企業が「経費を節減する」と回答しています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少	52.6%	同業者間の競争の激化	36.4%	大型店との競争激化	21.1%
当面の重点経営施策	経費を節減する	50.0%	人材を確保する	23.7%	宣伝・広告を強化する 売れ筋商品を取扱う	18.4% 18.4%

# サービスマ



## 景 況 ～今期低下 来期は大幅低下の予想～

今期の業況判断D Iは7.5→△1.4と前回調査比**8.9ポイントの低下**となりました。来期の予想業況判断D Iは△1.4→△31.0と**29.6ポイントの大幅低下予想**となっています（図表5-1）。

D Iがプラスで推移していた前年同期比売上額D I、同収益D Iがともにマイナスに転じており、1年前と比較して景況感の低下が窺えます（図表5-2）。

サービス業では、製造業、卸売業と比較して前回調査比でD Iの低下幅が小さかったものの、コロナウイルスによる非常事態宣言の全国拡大を受けて、4月以降の大幅な景況感悪化が懸念されます。

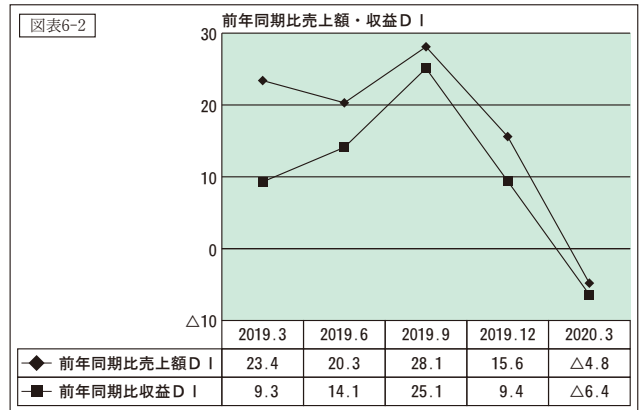
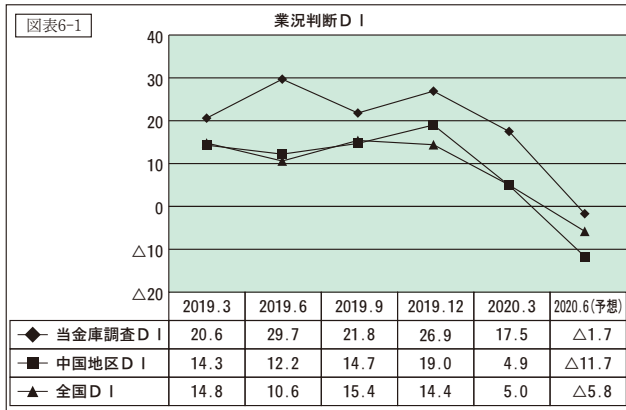
経営上の問題点では依然「人手不足」との回答率が高いものの、今後の業況悪化を見据えて、当面の重点経営施策では半数以上の企業が「販路を広げる」「経費を節減する」と回答しています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	人手不足	39.7%	売上の停滞・減少	36.8%	同業者間の競争の激化	26.5%
当面の重点経営施策	販路を広げる	51.5%	経費を節減する	50.0%	人材を確保する	25.0%

# 建設業



## 景況 ～今期低下 来期は大幅低下の予想～

今期の業況判断D Iは26.9→17.5と前回調査比**9.4ポイントの低下**となりました。なお、来期の予想業況判断D Iは17.5→△1.7と**19.2ポイントの大幅低下予想**となっています（図表6-1）。

前年同期比売上額D I、同収益D Iともにマイナスに転じており（図表6-2）、コロナウイルスの影響で主に中国からの建築資材の調達難による工期の遅れなどが要因と考えられます。

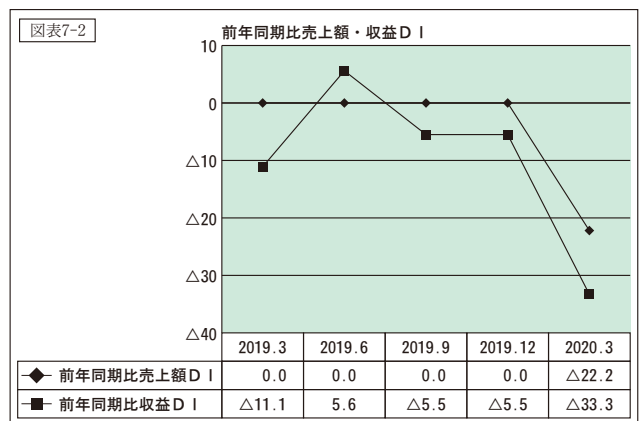
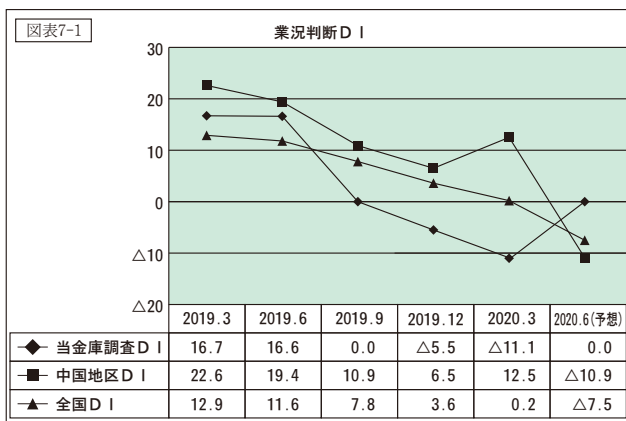
経営上の問題点、当面の重点経営施策では依然として「人手不足」「人材を確保する」との回答率が最も高いものの、今後の受注状況や工期の遅れなどによっては人手に対する状況が変化する可能性があります。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	人手不足	39.7%	売上の停滞・減少	27.0%	同業者間の競争の激化	23.8%
当面の重点経営施策	人材を確保する	42.9%	経費を節減する	34.9%	販路を広げる	33.3%

# 不動産業



## 景況 ～今期低下 来期は大幅上昇の予想～

今期の業況判断D Iは△5.5→△11.1と、前回調査比**5.6ポイントの低下**となりました。なお、来期の予想業況判断D Iは△11.1→0.0と**11.1ポイントの大幅上昇予想**となっています（図表7-1）。

前年同期比売上額D I、同収益D Iともに大幅なマイナスとなっており、比較的景況感の高かった1年前と比較して大幅に低下しています（図表7-2）。

経営上の問題点では引き続き「商品物件の不足」との回答率が最も高くなっています。また、当面の重点経営施策では半数以上の企業が「情報力を強化する」と回答しており、市場に出る数少ない商品物件情報をいかに早く掴み、獲得に結びつけるかが課題となっています。また、自社物件の有効活用を検討している企業も増加しています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	商品物件の不足	38.9%	売上の停滞・減少	33.3%	同業者間の競争の激化	27.8%
当面の重点経営施策	情報力を強化する	55.6%	不動産の有効活用を図る	38.9%	販路を広げる 宣伝・広告を強化する	33.3% 33.3%

## 調査先企業の声

### 製造業

- ・大手との取引が増加しているが単価が低いため、交渉の必要性を感じている。【強化プラスチック成型加工】
- ・コロナウイルスの影響でイベント系の印刷物が減少している。【印刷】
- ・中国の工場が生産がストップしており、在庫ストックにて対応している。一方で、他社が在庫切れになっており新規取引先が増加した。【樹脂製品製造】

### 卸売業

- ・外国人観光客が日中、日韓問題で減少したうえ、コロナウイルスの影響でさらに減少しており、売上・利益ともに厳しい。【土産、贈答品卸】
- ・暖冬の影響から、国内の野菜・果実ともに豊作であるものの、コロナウイルスの影響で飲食店からの受注が減少している。【青果卸】
- ・コロナウイルスの影響で街中の飲食店への酒類卸が減少している。【酒類卸】

### 小売業

- ・道の駅に店舗を構えているが、コロナウイルスの影響で来客数が減少している。【魚介類小売】
- ・アルバイトをはじめとした人材確保に苦勞している。今のところコロナウイルスの影響はない。【コンビニエンスストア】
- ・中国からの商品が入ってこない。価格は高いが国内製の仕入を増やしている。【家具、インテリア雑貨小売】

### サービス業

- ・来店客が減少している。コロナウイルスの状況次第では業況が更に悪化する懸念がある。店員のシフトを見直し最少人数で営業している。【飲食店】
- ・イベントの中止が相次ぎ経営を圧迫している。コロナウイルスの影響に不安を感じている。【音響設備等レンタル】
- ・先代（父）から事業を承継し順調に推移している。資材置場の拡充など、業容拡大に向けて積極的な取り組みをおこなう。【産業廃棄物処理】

### 建設業

- ・岡山市街地の再開発事業により多忙であり、依然として人手不足である。【土木建築】
- ・コロナウイルスの影響で一部の建築資材が入ってこず工期全体が遅延するケースが出ている。【建築板金工事】
- ・安定した受注を確保しているものの、従業員の高齢化が問題となっている。引き続き若手人材の確保に注力する。【防水工事】

### 不動産業

- ・学生アパート仲介・管理を主におこなっているがコロナウイルスの影響で大学前の人通りが少なく、来店客数も減少している。【不動産仲介】
- ・地域内の宅地開発により分譲地が増加しており経営の追い風となっている。【不動産売買・仲介】
- ・近隣に新たなマンションが数多くできており、自社物件が相対的に古く感じられる。家賃設定や設備の更新など入居者確保に向けた取り組みをおこなう。【不動産賃貸】

# 新型コロナウイルス対応 融資商品のご案内

おかやま信用金庫では新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けている中小企業事業者ならびに個人のお客さまに対し、以下の対応融資商品をラインアップしています。ご利用に関するお問い合わせはお取引いただいております当金庫営業部店または価値創造部までご連絡ください。

## 記

### ◆新型コロナウイルス対策資金「おかやましんきん支援融資“ファイト”」

新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けられている中小事業者さまの実情に応じた資金のご支援をいたします。

融資対象者：中小事業者（個人事業主を含む）

資金使途：新型コロナウイルス感染症拡大による影響への対応に必要な運転資金・設備資金

融資形式・期間：手形貸付 1年以内

証書貸付 7年以内（当初1年間の元金据置も可能）

融資金額：1億円以内

融資利率：当金庫の特別金利（変動金利、おかやま信金新プライムレート連動）

※所定の融資利率から最大0.2%引き下げいたします

連帯保証人：[法人] 原則代表者のみ [個人事業主] 原則不要

担保・保証：原則不要（不動産担保、保証協会保証が必要な場合もございます）

### ◆新型コロナウイルス対策資金「おかやましんきん緊急融資“クイック”」

新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けられている中小事業者さまの緊急時の迅速な資金のご支援をいたします。

融資対象者：中小事業者（個人事業主を含む）

資金使途：新型コロナウイルス感染症拡大による影響への対応に必要な運転資金・設備資金

融資形式・期間：証書貸付 10年以内（当初1年間の元金据置も可能）

融資金額：1,000万円以内

融資利率：当金庫の特別金利（変動金利、おかやま信金新プライムレート連動）

連帯保証人：[法人] 原則代表者のみ [個人事業主] 原則不要

担保・保証：原則不要

### ◆新型コロナウイルス対策資金「おかやましんきん教育ローン“サポート”」

新型コロナウイルス感染症拡大を受けて減収となった世帯で、高校生以上のお子さまがいらっしゃる親権者の方のご支援をいたします。

融資対象者：個人のお客さまで、高校生以上のお子さまの親権者の方

資金使途：授業料、引越費用、教材費、下宿費用等

※お支払先への振込となります。

融資形式・期間：証書貸付（元金返済据置後10年以内）

※卒業予定年月日までの元金返済据置ができます。

融資金額：200万円以内

融資利率：当金庫の特別金利（変動金利、おかやま信金新プライムレート連動）

担保・保証：原則不要

お申込みに際しましては、当金庫所定の審査がございます。ご希望に添えない場合がございますのであらかじめご了承ください

以上

## 調査の要領

- 1) 調査時点 2020年3月2日～6日
- 2) 調査対象期間 2020年1月～3月（3月については感触）
- 3) 調査対象 250企業（有効回答数249企業・回答率99.6%）
- 4) 調査方法 おかやま信用金庫各営業部店の職員による面談での聞き取り調査
- 5) 分析方法 各質問事項で「良い」（上昇）とした企業が全体に占める構成比と、「悪い」（低下）とした企業の構成比との差（判断DI）を中心に分析  
※DI＝ディフュージョン・インデックスの略  
一般にプラスは好調、マイナスは不調を示す（仕入価格DIについては逆）
- 6) その他 全国DIならびに中国地区DIは、全国の信用金庫が中小企業約16,000先を対象として調査し、信金中央金庫が取りまとめた数値を使用

### 回答率

（単位：先、％）

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
回答企業数	40	22	38	68	63	18
回答率	100.0	100.0	100.0	100.0	98.4	100.0

### 従業員数

（単位：先）

業種 (単位：人)	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計	構成比
0～9	20	17	31	49	46	17	180	72.3%
10～19	7	1	3	8	12	1	32	12.9%
20～29	6	3	0	4	4	0	17	6.8%
30～49	2	0	3	4	1	0	10	4.0%
50以上	5	1	1	3	0	0	10	4.0%
計	40	22	38	68	63	18	249	100.0%
構成比	16.1%	8.8%	15.3%	27.3%	25.3%	7.2%	100.0%	

### 資本金

（単位：先）

業種 (単位：千円)	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計	構成比
10,000未満	20	6	23	36	32	8	125	50.2%
10,000～49,999	17	16	14	29	31	10	117	47.0%
50,000～99,999	3	0	1	2	0	0	6	2.4%
100,000以上	0	0	0	1	0	0	1	0.4%
計	40	22	38	68	63	18	249	100.0%
構成比	16.1%	8.8%	15.3%	27.3%	25.3%	7.2%	100.0%	

## 編集後記

今回調査期間における全業種総合の業況判断DIは前回調査比で13.4ポイント低下し△2.8と8期ぶりのマイナスとなりました。コロナウイルスの影響が多く企業に広まっており、経済活動の停滞が顕著になっています。

コロナウイルス感染拡大の収束が見えない状況のもと、おかやま信用金庫では地元岡山の中小企業の皆様の実情をしっかりと把握し、最適な支援をおこなうことで地域経済を支えてまいります。



おかやま信用金庫  
価値創造部

— 2020.06 —

〒700-8639 岡山市北区柳町1丁目11番21号  
TEL:フリーダイヤル 0120-173-299(ガイダンス番号5)  
FAX:086-226-2288  
http://www.shinkin.co.jp/okayama/  
e-mail:sien@okayama.shinkin.jp